

苫小牧市立青翔中学校

指定年度：H29～
生徒数：736名

1 包括的な学校改善に向けた取組の概要

① 教育理念や経営方針の浸透【グランドデザイン「PROJECT BLUE 2020」の策定】

- 本校の教育目標や重点目標、目指す学校像及び生徒像等を踏まえて設定した今年度の学校力向上に向けた総合的な取組（PROJECT BLUE）を確認、共有することができるよう、グランドデザインを策定した。
- 学校力向上に向けた総合的な取組を「学校マネジメント等」、「人材育成」、「教育課程・指導方法等」、「地域・家庭との連携」の4つのフレームで示し、学校関係者と共通理解を図った。
- 検証サイクルを確立することで学校改善が確実に進むよう、学校評価を9月と3月の2回実施することとした。
- 経営方針の浸透につながる業務の進捗状況を確認する場として、「経営企画面談」を実施した。
- 会議の時間を縮減したり、C4th（統合型校務支援システム）を活用した業務の効率化を図ったりすることで、グランドデザインに位置付けた働き方改革を推進した。



【PROJECT BLUE 2020】

② 協働意識の高揚【積極的な学校運営の推進】

- 「PROJECT BLUE」の取組の具現化に向け、生徒の状況把握や指導の在り方を共有する場としての「企画委員会（Monday・Meeting）」や各分掌のグループ再編など、組織体制を改善した。



【「企画委員会の様子」】

③ 人材育成【実践的な研修会の実施】

- 教員の経験年数に応じた人材育成に向け、若手教員による「青翔セミナー」や管理職等による初任段階教員及び中堅教員を対象にした「校長室ミニ研修」を開催している。
- 「経営企画面談」及び「期首面談」を活用したキャリア・プランや業務の推進状況の確認を通して、教員の資質・能力の向上が図られるよう人材育成計画を作成している。



【校長室ミニ研修の様子】

2 取組の成果と課題（□：成果 ■：課題）

- 経営方針の浸透（経営ビジョンの明確化）では、教職員自己評価及び保護者アンケートともに浸透している状況が見られた。
- 教職員による学校評価の協働意識に関する項目の昨年度との比較において肯定的な回答が増えたことから、協働意識が高揚したことがうかがえた。（R1（2.98）⇒R2（3.12））
- 「PROJECT BLUE」の取組の実現につながる外部人材の活用について、オンラインを活用するなど、様々な状況に対応できるように計画する必要がある。

